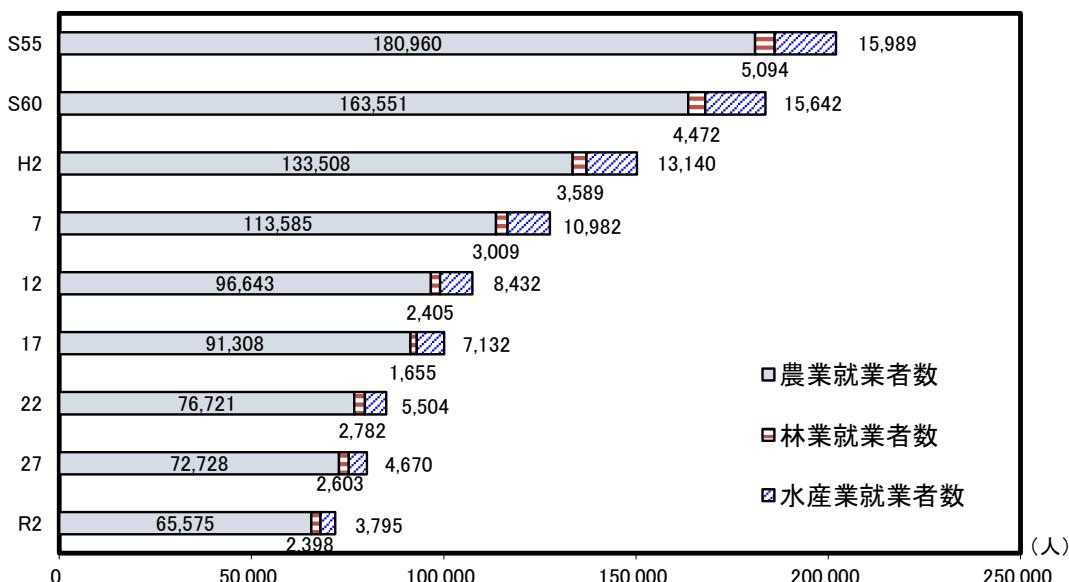


## 熊本県の第一次産業就業者数の推移



### 解 説

#### 【概要】

令和2年の県内の第一次産業就業者数は72千人で、就業者総数に占める割合（第一次産業就業者比率）は8.94%となり、全国平均の3.51%を大きく上回った。

産業内訳では、農業就業者が65,575人と約91%を占めた。

年次推移をみると、就業者数は、減少傾向が続いていること、後継者育成等が重要な課題となっている。

#### ○就業者

調査週間中、賃金、給料、諸手当、営業収益、手数料、内職収入などの収入（現物収入を含む）になる仕事を少しでも行った者。休業者も含む。また、家族の人が、自営業の手伝いをした場合は、無給であっても含む。

#### ○第一次産業

農業、林業及び水産業。

（林業は、「農業、林業」から「うち農業」を引いて算出した。）

#### ○第一次産業就業者比率

第一次産業就業者数  
÷就業者総数 × 100

#### ○農業就業者比率

農業就業者数 ÷ 就業者総数 × 100

#### ○林業就業者比率

林業就業者数 ÷ 就業者総数 × 100

#### ○水産業就業者比率

水産業就業者数 ÷ 就業者総数 × 100

| 資料出所          | 調査期日      | 調査周期 |
|---------------|-----------|------|
| 「国勢調査」 総務省統計局 | 令和2年10月1日 | 5年   |